

SENSE of WONDER

In praise of shadow.

影を讃えて。
センスオブワンダー

前橋市芸術文化れんが蔵

12月7日 — 9日

SHOKURAKU.ASANO & HOSOO
Produced by OGAWAYA + MMA

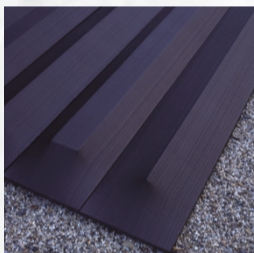
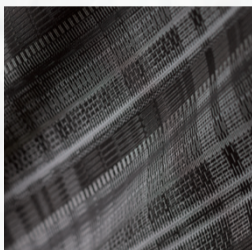
私たちは、五感を震わせる体験や対象に触れたとき、言葉では表現できない不思議な感動を受けます。こうした人間の心理的な感覚「SENSE of WONDER」を通して、伝統文化の今とこれからを伝えます。



織楽浅野
浅野裕尚

1955 京都に生まれる / 1980 株式会社 織楽浅野を父と共に独立創業 / 1987 国際テキスタイルコンペティション'87 京都に出品、Industrial Design Award 受賞 / 1989 IBM北海道ソリューションセンターの建物内の天井並びに床面のグリッドを浮世絵に見られる格子をテーマにデザイン / 1991 織陣座展を青山スパイラルで開催 / 1994 谷崎潤一郎の「陰翳礼讃」をテーマに二人展、96年97年00年と開催 / 1998- 池坊短期大学「衣の文化」講義 / 2003 京都文藝復興倶楽部 第三回シンポジウム、「色が持つ魅力とデザイン」パネリスト / 2006- 武蔵野美術大学古美術研究会「織物表現」講演

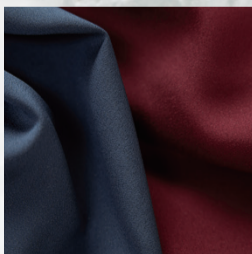
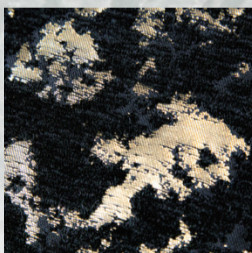
織を楽しむところ
織楽浅野のもの創りの原点です
如何に余分なものを取り除き
そのものの持つ素材感を大切に
今までの生地の上に盛り沢山に
彩られた過飾の織物ではなく
シンプルでもない
そこには もうなにも足さない
なにも引かないという本質があり
いつまでも持っていたいと
時をこえる美しさをもとめました



HOSOO
細尾真孝

1978年生まれ/1688年から続く西陣織の老舗、細尾12代目/大学卒業後、音楽活動を経て、大手ジュエリーメーカーに入社/退社後フィレンツェに留学/2008年に細尾入社/西陣織の技術を活用した革新的なテキスタイルを海外に向けて展開/ディオール、シャネル、エルメス、カルティエの店舗やザ・リッツ・カールトンなどの5つ星ホテルに供給するなど、唯一無二のアートテキスタイルとして、世界のトップメゾンから高い支持を受けている/また、デヴィッド・リンチやテレジータ・フェルナンデスらアーティストとのコラボレーションも積極的に行う/2012年より京都の伝統工芸を担う同世代の後継者によるプロジェクト「GO ON」を結成。国内外で伝統工芸を広める活動を行う/日経ビジネス「2014年日本の主役100人」、WWD「ネクストリーダー 2019」「2021 Forbes JAPAN 100」選出/2021年初の著書「日本の美意識で世界初に挑む」を上梓

「細尾」は、「西陣織」の技術を時代を越えてつなぐだけでなく、日本各地で営まれている染織の間のつながりを把握し、多くの人に伝えてゆきたいと考えています。全国のきもの染織について「細尾」が情報発信を行う目的は、それぞれの土地に息づく工芸の精神に光を当てることで、これまで見落とされてきた、染織文化の水平的なつながりを可視化することです。それを多くの人と共有し、次世代へと継承していくことで、未来の工芸を醸成することを意図しています。



トークイベント 12月7日(水) 19時-20時

きものとセンスオブワンダー

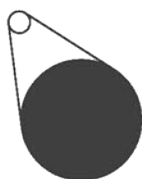
織楽浅野 HOSOO 小川屋
浅野裕尚 + 細尾真孝 + 伊藤大介



伝承展

2022

センスオブワンダー
影を讃えて。



SENSE of WONDER
In praise of shadow.

場所



前橋市芸術文化れんが蔵

前橋市三河町1-16-27

*数台分駐車場がございます

*満車の場合は近隣のコインパーキングをご利用ください

日時

2022年12月 7日(水)18時-20時

8日(木)12時-17時

9日(金)12時-17時

トークイベント

12月7日(水)19時-20時

きものとセンスオブワンダー

織楽浅野 HOSOO 小川屋
浅野裕尚+細尾真孝+伊藤大介



〒371-0022 群馬県前橋市千代田町2-7-15

TEL:027-231-6000

MAIL:info@kimono-ogawaya.com

営業時間: 10:00 - 18:30

定休日:水曜日

詳細は
コチラ

